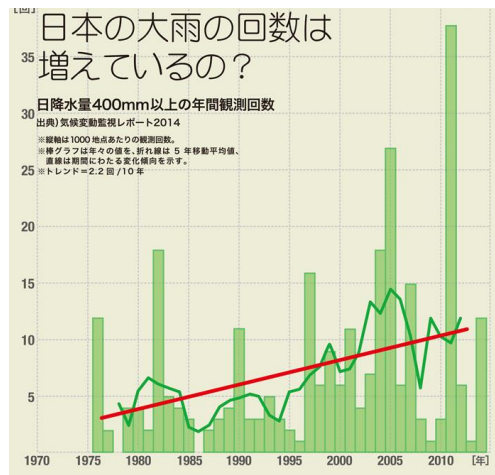


## 日本の大雨回数は増加しています！

左の図は全国約 1,300 地点の地域気象観測所（アメダス）において観測された日降水量 400mm 以上の大雨の発生回数を年ごとに集計し、最近 38 年間の変化傾向をみたものです。

1975 年以降、なだらかですが増加傾向にあります。

これらのデータは全国地球温暖化防止活動センターのホームページで検索、ダウンロードすることができますので、日本や地球の温暖化情報を確認してみたいかがでしょうか。



## 「Eco列車でいこう！」 ～第80回 ワンデーキップでぶらり旅！～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！)

2月11日(祝)、午前8時の新潟駅。「えちごワンデーパス」を持って、どこに行こうか迷う。信越線から上越線に乗り換え、小千谷でへぎそばを食べて温泉に入り、帰りに長岡で39円のシュークリームを買って帰るのもよし。越後線で出雲崎に行き、バスで日本海まで出てよし、磐越西線で津川に行き、トロトロの清川温泉に入るのもよし・・・。それぞれ魅力はあるが、結局8：43発の「快速べにばな」で山形県小国へ。

この列車には昨夏も昨秋も乗った。快速は適度に駅を通過する。このスピードが良い。通勤通学客が少ない土曜日。左2人掛、右に4人掛のボックス席が並び車内はのんびりムードだ。2人掛に席を取り、靴を脱いで向いの座席に足を乗せる。持参のマグカップにティーパックを入れて、水筒からお湯を注ぐ。車窓を見ながらのティータイムはなかなかいいものである。

2両編成のディーゼルカーは10時過ぎに小国駅に到着した。小国町は自然豊かな素晴らしいところだが、駅の徒歩圏内には見どころはあまりない。街中を歩いたり、ショッピングセンターで「たかきびソフトクリーム」を食べたりして時間を過ごした。

地元産の冷酒があったので、弁当とともに買い込んで11：48発の坂町行に乗る。さっそく冷酒を飲みながら、車窓から荒川峡を眺める。ガラガラのローカル線の雪見酒。贅沢な時間だ。

新発田からは、高校生の帰宅時間と重なり、にぎやかな電車に乗る。13：48新津着。さて、この先はどうしようかと考えながら、磐越西線津川行きに乗車。東新津の日帰り温泉「花水」で一浴という案が頭をよぎるが、阿賀野川を眺めたいと思い、車内に残る。が、ふと「五泉の街を歩いたことが無いな。」と思い、五泉駅で下車した。フリーきっぷは、思い立ったらいつでも降りられるから便利だ。菅名岳の伏流水に恵まれた五泉の街を歩き、時間があったので、北五泉まで徒歩で戻り、新潟行で帰途に着いた。

予定を決めない「ぶらり旅」は面白い。

